

第9回居住性能評価指針改定小委員会 兼 第7回居住性能評価指針刊行小委員会 議事録（案）

A. 日 時 2017年8月7日 木曜日 17:30～19:30

B. 場 所 建築学会会議室

C. 出席者 横山主査, 他7名

D. 提出資料（提出委員名）

No.9-1 第8回居住性能評価指針改定小委員会兼第6回居住性能評価指針刊行小委員会
議事録案

No.9-2 第20回性能評価法検討WG議事録案

No.9-3 居住性能評価指針本文案

No.9-4 居住性能評価指針解説案（鉛直SWG）

No.9-5 居住性能評価指針解説案（水平SWG）

E. 議事内容

1. 前回議事録案の確認

資料9-1に基づき前回議事録案の確認があり、承認された。

2. 性能評価法検討WG報告

松本（WG主査）より、資料9-2に基づき、7月12日に開催されたWGの内容が説明された。

2-1. 性能評価指針本文案

松本（WG主査）より、資料9-3に基づき本文案の説明があった。主な議論は以下の通り。

- ・ 「性能評価指針」を「性能評価規準」とすることで合意した。
 - － 「評価」と「設計」を分離したことにより、「評価」の内容は「規準」が適しているとの判断による
- ・ 表3.2.1-1の「評価の観点」の並びは、「不安」、「不快」、「知覚」の順とする
 - － 水平振動の場合、高層建築物の風振動のように、「不安」、「不快」の観点のみでは評価が難しい事例もあるため
- ・ 表3.2.1-1の「知覚」による評価レベルの説明は、確率ではなく言葉での表現とする
 - － 他の「評価の観点」による説明と合わせる。解説で、言葉と確率の対応を説明する。
- ・ 表3.2.1-1の評価レベルに関して、H-Ⅱ、Ⅲは分ける必要があるか、H-Ⅵ、Ⅶは必要か、との意見があったが、議論の結果、H-Ⅱ、Ⅲ、Ⅵ、Ⅶは案の通りとすることとした

2-2. 性能評価指針解説案

横山主査（鉛直SWG主査）より、資料9-4に基づき鉛直振動に関する解説案について、石川委員（水平SWG主査）より、資料9-5に基づき水平振動に関する解説案について、それぞれ概説があった。

- － 各委員で内容を確認し、意見等を松本WG主査に連絡することとした
- － 解説の構成は、内容がより確定した段階で決定することとした
- － 居住性能評価指針検討WG（H25年度まで活動）で整理した知見のうち、解説に含まれない内容については、次回改定のため運営委員会で引き継ぐことを検討することとした

3. 今後の予定

次回委員会は、10月12日（木）17:30から開催することとした。

以上